

令和 8 年度進行管理

戦略点検シート

◎基本政策 2 健康で安心な生活基盤の整備

主要課題	No. 28	新興・再興感染症対策の推進
------	-----------	---------------

● 4 年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●		主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。
4 年後の目指す姿	区民が正しい知識を持って感染症の予防に努めるとともに、感染症有事に備えた総合的な健康危機管理体制が構築され、新興・再興感染症の発生時における区民生活の安全が確保されている。	
計画期間の方向性	○感染症予防対策の推進 あらゆる世代の区民等に対して、適時的確な方法により、感染症発生状況等の情報や感染症についての正しい知識、適切な予防対策について、周知・啓発を行うとともに、適正な予防接種事業の推進に取り組みます。	
	○健康危機管理体制の整備 国や都、医療機関等との連携強化や全庁的な支援体制の構築等、感染症有事に備えた総合的な健康危機管理体制を予防計画等に基づき構築します。	
	○感染症の拡大防止 感染症有事の際の迅速な対応及びまん延防止のため、I C Tの効果的な活用や有事に備えた訓練等に取り組みます。	

事業費（令和 7 年度） 上段：実績 下段：当初予算									
1 どのような事業で何をしたか（実績）			戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。						
事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割						事業費(千円)
115	新興・再興感染症対策推進事業	予防対策課	感染症予防対策の普及啓発や連携体制の整備、感染症の拡大防止対策により、新興・再興感染症の発生時における区民生活の安全を確保する。						1,427,276千円
									(1,559,493千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
	① 感染症有事対応訓練・研修		回	—	—	1	1		
	② MRワクチン第 1 期接種		%	98.2	97.5	97.3	97.2		
③ MRワクチン第 2 期接種		%	94.8	93.5	93.0	94.5			
●特記事項（実績の補足）									
感染症有事対応訓練・研修を、以下の内容で令和 8 年 2 月に実施しました。 新庄 正宜 氏（慶應義塾大学医学部小児科/慶應義塾大学病院感染制御部） 「インフルエンザと新興感染症への備えについて～季節性・新型インフルエンザを中心に～」									

2 社会ではどのような動きがあったか （社会環境等の変化）		人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。
チェック	チェック項目	
有	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）	
有	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）	
「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正）」により、令和8年4月6日から「薬剤耐性緑膿菌感染症」が「多剤耐性緑膿菌感染症」と名称及び届出のために必要な検査所見が変更となるとともに、全数把握疾患に位置づけられました。 MRワクチンについて、ワクチンが限定出荷となり発出された厚生労働省事務連絡に基づき、6年度の対象期間内に定期接種を受けることができなかった方について、7年度から8年度末まで接種期間を延長しました。 また、8年4月からRSウイルス感染症の予防が新たに予防接種法のA類疾病に位置づけられたため、RSウイルス母子免疫ワクチンが定期接種となりました。 医療DXとして国が進めている予防接種事務のデジタル化について、健康管理システムを全国統一様式にするため、区では7年度中に標準化を行いました。		

3 成果や課題は何か（点検・分析）

1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。

○感染症予防対策の推進

令和7年度は百日咳、インフルエンザ、麻しん等の注意喚起をホームページやSNSにて周知したほか、麻しんについては、陽性者の行動歴や他自治体のプレス発表をまとめた資料を、大学病院や医師会に対し、適切なタイミングで周知を行いました。

また、区の相談窓口では区民からの各種相談に保健師等が適切に対応しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大以降、予防接種の種類によっては、接種率が低くなったものもあり、MR2期については7年度に接種率が上がったものの、目標の95%を下回っています。

○健康危機管理体制の整備

文京区感染症予防計画における保健所の役割を担うため、地域の特性や実情を踏まえて、令和7年9月に、新興感染症発生時の速やかな有事体制の切り替えや体制構築のための人材確保、関係機関との連携等を盛り込んだ、文京区健康危機対処計画を策定しました。

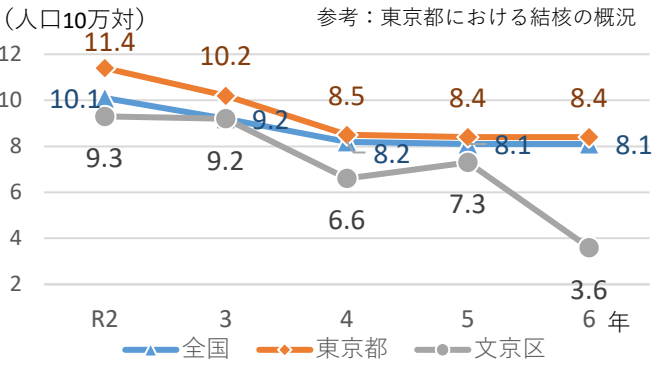
また、都立駒込病院で実施された「一類感染症患者対応訓練」「新型インフルエンザ患者受け入れ訓練」に参加し、患者搬送やリモート疫学調査等の訓練を実施したほか、駒込病院や東京都、他保健所等との連携を深めました。

○感染症の拡大防止

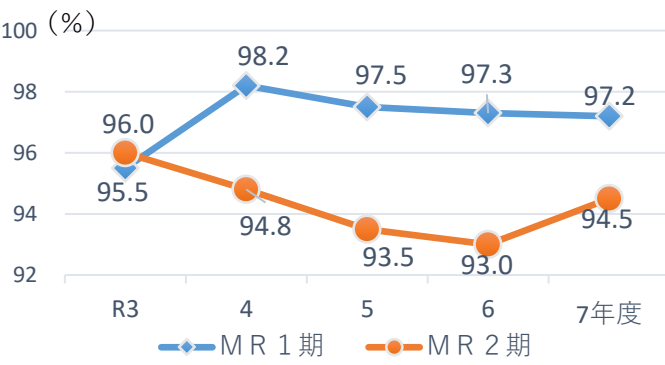
令和6年度中に開発を行った感染症管理システムが7年4月より本格的稼働し、積極的疫学調査で得られた情報を健康危機発生時に有効活用できるよう平時より活用しています。

また、予防計画に基づき研修を行い、慶應義塾大学の新庄氏にご講演をいただき、保健所内のみならず、庁内、地域、医師会にも参加を呼びかけ、地域全体でインフルエンザと新興感染症への備えを強化しました。

●結核罹患率



●MRワクチン接種率



【SDGsの視点】



感染症情報に関する適切な周知・啓発や保健所体制の強化等により、区民の健康を守る取組を推進しました。



国、都、医療機関及び医師会等の関係機関との連携強化等により、新興・再興感染症対策の推進を図りました。

4 今後どのように進めていくか（展開）

3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、今後の戦略としての進め方を記しています。

新しい感染症の発生に備え、文京区感染症予防計画等の内容に則り、感染症対応業務のICT化や保健所職員等の訓練・研修を着実に実施することにより、保健所体制の強化を図ります。

また、MRワクチン等の定期予防接種の積極的な接種勧奨による接種率の向上、任意予防接種の費用助成等により、区民の命と健康を守っていきます。